

「育ちと学びをつなぐ」
幼保小連携・接続版



遊び学び育つひろしまっ子!



広島県乳幼児教育支援センターでは、昨年度から園・所等の先生方や小学校の先生方に、ニュースレター「遊び 学び 育つひろしまっ子!」と題して、お役に立つ情報やセンターでの取組等について、発信しています。今年度の第1号は、「『育ちと学びをつなぐ』幼保小連携・接続版」です。

今回は、「スタートカリキュラムを振り返ろう」をテーマにお届けします。



いよいよ実践! スタートカリキュラム

昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大により、県内の小学校では、4月に予定していたスタートカリキュラムが実践できず、また、各地域で予定していた、園・所と小学校間での子供や職員の交流等、幼保小連携・接続の充実に向けた取組を実施することも難しい状況になりました。

そうした中でも、各園・所や小学校等で、幼保小連携・接続の充実に向けて、新たなアイデアを出し合いながら、できるところから取り組まれたことで、今年度、より充実したスタートカリキュラムを実施することができました。

スタートカリキュラムについておさらい

小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム

幼児教育

- 5領域
(健康, 人間関係, 環境, 言葉, 表現)
を総合的に学んでいく教育課程
- 子供の生活リズムに合わせた1日の流れ
- 身の回りの「人・もの・こと」が教材
- 総合的に学んでいくために工夫された環境の構成等

学びの
芽生え

つなぐ

小学校教育

- 各教科等の学習内容を系統的に学ぶ教育課程
- 時間割に沿った1日の流れ
- 教科書が主たる教材
- 系統的に学ぶために工夫された学習環境等

自覚的
な学び

小学校入学前に、子供たちは遊びを通して、たくさんのことを学んできています。学ぶ場(環境)は変わっても、子供の発達や育ちに切れ目はありません。スタートカリキュラムは、幼児期の遊びや環境を取り入れながら、幼児期から児童期へと「学び」をなめらかにつなげていくためのものです。

メッセージ ～子供たちと向き合う先生方へ～ 安田女子大学 朝倉 淳 教授

アジサイの頃となりました。不由で困難な生活が続いています。新一年生はどのように過ごしているでしょうか。

スタートカリキュラムのキーワードは「安心」です。それは、子供たちが自己発揮して新しい学校生活を創造するための基盤です。安心は与えられるものではなく、子供たち自身が安心と感じてはじめて「安心」と言えるでしょう。私たちにできることは、そのような状況を創ることです。

安心が生まれたかどうかは、子供の姿を見たり声を聞いたりしなければわかりません。子供の側から、本当の「安心」がどれくらい実現したのかを振り返りましょう。子供たちが大切な時間を過ごす園や学校は、安心な場所でありたいものです。また、私たちは、子供たちにとって安心で頼りになる存在でありたいものです。

どんな時でも、子供たち一人一人の成長が私たちの希望です。一年生が育てているアサガオがもうすぐ花を咲かせることでしょう。

本当の「安心」が
生まれるように



朝倉教授には、本県のような取組に関して御指導をいただいています。今年度も、ニュースレターを通して、現場で子供たちと向き合う先生方へメッセージをくださいます。

今年度のスタートカリキュラムの実践を紹介！

安心をつくる時間

三原市立大和小学校の取組

朝	♡朝の遊び～8:40 ・あいさつ・元気調べ ・今日は何するの(予定)
1	♡生(1/3)音(1/3) 国(1/3) 「みんなとなかよくなり たいな」 「うたっておどってな かよくなるう」 「ほんがたくさん」 園で楽しんだ歌や手遊 びやゲームをする。絵本 の読み聞かせをする。

【朝の遊び】

朝の支度を済ませた後、友達と誘い合って自由に遊べる時間を設定。

【なかよしタイム】

朝の会から1時間目までを連続した時間とし、幼児期の生活リズムや園での過ごし方を参考に、幼児期に近い生活をつくる。10分から15分程度の短い時間で時間割を構成。



幼児期と同じように
自分で選択して遊べる環境

幼児期に大切にしてきた生活リズムや1日の過ごし方、集中する時間、意欲の高まりを踏まえて、週案を組み立てていくことで、子供たちは安心して学びに向かうことができます。楽しい気持ちで1日の学校生活を始めることができるような工夫が大切です。

生活科を中心とした学習活動

坂町立坂小学校の取組(生活科「だいすき さかしょうがっこう」)

＜本時の目標＞ 友だちと思いや願いを交流することを通して、自分の知りたいことをはっきりさせたり友だちの知りたいことを分かたりすることができる。

授業の流れ

幼児期に親しんだ活動

学校探検の経験をもとに



導入
「おしえて
おしえてげ
えむ」



「おしえておし
えてげえむ」を
用いてもっと詳
しく知りたい場
所を聞く。



知りたい教室
ごとのグルー
プに分かれて
話し合い

話しやすい雰囲気づくり



グルー
プ
で発表

子供のつぶやきから



新たな課題
を発見し、
次の時間へ

子供たちは、生活の中で見付けた疑問を解決したり、思いや願いを実現したりすることで学ぶことへの意欲がさらに高まります。そのため、教師は、子供のつぶやきを大切にして、子供の意識の流れに沿った学習活動を実践することが大切です。

子供たちの「小学校入学前」、「スタートカリキュラムの時期」、「それ以降」の育ちや学びは、切り離されたものではありません。スタートカリキュラムにおける子供の姿や指導を振り返り、今後も、子供たちが、主体的に自己を発揮し、充実した学校生活を送ることができるよう、工夫しながら取り組んでいきましょう。

令和3年度乳幼児教育支援センターの幼保小連携・接続の取組

★「育ちと学びをつなぐ」 幼保小連携・接続の充実事業

- ・7市町(廿日市市、海田町、坂町、安芸太田町、府中市、三次市、庄原市)を指定。
- ・市町・市町教育委員会が連携し、連携協議会や研修会、相互参観などの体制を整備。

★各種研修

- 連携担当教員研修会(小学校対象)
- 幼保小連携・接続「育ちと学びをつなぐ」連携・接続講座(県立教育センター)
- 特別な支援を必要とする幼児児童のための幼保小接続期の教育・保育講座

ご参加をお待ちしております！

★幼児教育長期派遣研修

- ・本県の幼保小連携・接続の充実のため、小学校教諭を1年間、園・所に派遣。
- ・今年度、広島大学附属幼稚園で1名が研修中。

※今後の状況によっては研修等の延期・中止の可能性がります。

【発行元及び連絡先】広島県乳幼児教育支援センター

〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会事務局(東館6階)

TEL (082)513-4978 FAX (082)212-3331

広島県乳幼児教育支援センターホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-inaex.html>

